

市町村名		沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-	観光基盤整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ			
担当部課名	経済文化部 文化観光課		事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ～ 2 7 年度	観光客の受入体制の整備			
				沖縄振興基本方針 該当箇所	- 1 - (1)			
事業内容	魅力ある観光資源の情報発信および観光客等の利便性の向上を図ることを目的とし、終日気軽に本市の観光情報等が入手できるよう、タッチパネル式のデジタル観光インフォメーションの設置に対する支援や観光案内ポータルサイトの作成およびAR基盤アプリケーションなどを整備する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	167,164	-				
		(b)予算現額	196,828	-				
		(c)増減額(b-a)	29,664	-				
		(d)繰越額	-	127,106				
		A.計(b+d)	196,828	127,106				
	B.執行済額		69,661	127,106				
	うち交付金充当額		55,728	101,685				
	次年度繰越額		127,106					
	執行率（％）(B/A)		35.4%	100.0%				
予算の状況の説明		本市観光情報発信のため、デジタルサイネージの設置補助及び無料公衆Wi-Fiの整備、観光ポータルサイトの構築等を実施しており、広く観光情報発信の拡散に寄与する事業となっているものである。また、新たなコンテンツの構築及び公共施設へのデジタルサイネージの設置を追加している。 観光施設管理者及び観光事業者からWi-Fiエリア変更・拡大及びICTサービス拡充の意見があり、Wi-Fiエリア拡大に伴う現場調査・アンテナの選定・アクセスポイントの設計やICTサービス拡充によるデータ集約・プログラミング等の調整に不測の日数を要したため、平成25年度に事業を繰り越し、完結している。 事業拡充により予算増を行ったため、当初予算額と予算現額に開きがある。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	タッチパネル式観光掲示板の設置 無料公衆wi-fiの導入 観光ポータルサイトの構築 ICTサービスの実施 観光プロモーションの実施 事業効果測定	目 標	(4件 13エリア 内容22種類 内容10種類 各メディア1回以上 国内1回、海外1回)	(				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 最近の傾向として沖縄市を訪れる香港等の外国人客が増加していることから、公衆Wi-Fi環境の拡充とその認知度をどのように向上させていくか、本市の考える観光戦略をどのように進めていくか施策の転換時期にも来ており、各施設への誘導と本市の魅力向上となるような地域資源の掘り起こしが必要となっている。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 観光客及び本市を訪れる来街者のニーズを的確に把握・分析することにより、本市として特徴的な観光情報を発信し、ポータルサイトの閲覧の増加と誘客につながるものと考えている。 デジタルサイネージやWi-Fi環境の拡充により、来街者が着地型による観光を進めることができるものである。 また、近隣市町村との連携による観光メニューを検討することも今後の課題と考えており、現在、同種の事業を実施している市町村等とネットワークを形成することも当該事業の改善の一つと考えている。
	今後の取り組み方針 地域間ネットワークの形成によるきめ細かなイベント情報の発信及び新たな施設情報の発信、コンテンツの追加を行う。また、観光ポータルサイト閲覧数の向上とWi-Fiエリアの拡充と、整備環境の認知を上げるプロモーションを行うとともに地域に根差した情報発信を行うため、運営環境を整えていく。 H25年度における主な事業内容 観光施設におけるWi-Fi環境の整備、WEBコンテンツの拡充、プロモーション(Wi-Fi告知、コザWEB告知、観光情報発信) デジタルサイネージ設置 効果測定(WEBアンケートの実施、利用者調査、アクセス解析) については東南植物楽園・沖縄市役所・沖縄市民会館に設置、 については東南植物楽園に設置	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
196,767	196,767	157,413	39,354	

```

graph LR
    A[沖縄市  
196,767千円] --> B[委託料  
192,101千円]
    A --> C[補助金  
4,666千円]
    B --> D["NTT西日本 沖縄支店  
192,101千円  
(・H25年度繰越)"]
    C --> E["沖縄県観光協会  
4,666千円  
{ 別途受益者負担額528千円 }"]
    D --> F["本市実施のICT利活用事業の委託  
②、 、 、 、"]
    E --> G["観光協会が設置するデジタルサイ  
ネージへの補助"]
  
```

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	エイサー文化発信事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章 - 3 - (2) - イ	
担当部課名	経済文化部 文化観光課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 ～ 2 7 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 - 1 - (1)		
事業内容	エイサーを活用した観光振興や地域活性化を図るため、エイサーの拠点となる（仮称）青年エイサー会館の整備に向けた取り組みを推進するとともに、エイサー関連資源のブランド化の支援を行う。また、「沖縄全島エイサーまつり」におけるシャトルバスの運行やエイサーの担い手の育成、エイサーによる文化交流活動への支援などを行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	42,202	-			
		(b) 予算現額	39,111	-			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,091	-			
		(d) 繰越額	-	9,744			
	A．計 (b+d)		39,111	9,744			
	B．執行済額		28,692	9,744			
	うち交付金充当額		22,953	7,795			
	次年度繰越額		9,744				
	執行率（％）(B/A)		73.4%	100.0%			
予算の状況の説明		エイサーキャラバン、グッズ開発等により不用額が発生しているが、当初計画していた事業内容はすべて実施できており、適正な予算執行であったと考えている。 また、エイサー会館基本方針の策定は、関連団体等とエイサー会館の建設予定地および波及効果等について、当初計画していなかった個別での意見収集を実施した事により不測の日数を要したため、平成25年度に事業を繰越し、策定を完了した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	エイサー会館基本方針の策定 エイサー会館準備室の運営 エイサーまつりシャトルバスの運行 エイサーキャラバンの支援 エイサーグッズ開発の支援	目 標	()	()	()	()	
		実 績	策定 運営 運行 支援 4種類				
達成状況説明	エイサー会館基本方針の策定については、平成25年度へ事業を繰越し、策定を完了した。 エイサー会館準備室では、エイサーガイドを養成するための基礎講座（全8回）を3期に分けて実施した。また、1,717件のエイサーに関する問い合わせ等への対応を行っており、エイサーに関連する資料を688点収集した。 沖縄全島エイサーまつりの中日、最終日の2日間、シャトルバスを運行し、延べ26,572名の観光客等による利用があった。 エイサーキャラバンの支援については、国外からの観光客等の誘客を図るため台湾、香港へ市内青年会を派遣し、旅行博等でエイサー演舞の披露を行った。 エイサーグッズの金型開発に支援を行い、4種類の金型を製作した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	沖縄全島エイサーまつり来場者数 エイサーナイト来場者数	目 標	()	(310千人 10千人)	()	()	()
		実 績		310千人 9千人			
	〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	沖縄全島エイサーまつりの来場者数は、主会場であるコザ運動公園の野球場建設工事により会場が狭隘であったにもかかわらず31万人の動員があった。また、エイサーナイトについては、計10回の開催を予定したが、台風の影響により2回が中止され、計8回の開催となったため、観客動員数は9千人であった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 現在、県外のような団体等がエイサーを演舞する状況およびメディア等での露出が多くなり、エイサー自体の認知度は高まったが、「エイサーのまち」としての「沖縄市」の認知度はまだ十分ではない。 台湾の旅行博において、本市青年会のエイサー演舞がベストパフォーマンス賞を獲得するなど、外国人に対するエイサーが持つ訴求力は高く、魅力的な観光誘客コンテンツであると考えられる。 本市で開催されている沖縄全島エイサーまつりは30万人以上の観客動員を誇る、県下最大のエイサーイベントである。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) エイサーを観光資源としてとらえた各施策に取り組むことにより、より効果的な本市への観光誘客を図るべきである。
	今後の取り組み方針 エイサーを活かしたまちの景観づくりやエイサー体験等の受け入れ体制の強化、エイサーを活用したグッズの開発等の実施により、より効果的な観光客等の誘客に取り組んでいく。	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
38,612	38,436	30,748	7,688	176


```

graph LR
    A[沖縄市  
38,436千円] --> B[委託料  
25,418千円]
    A --> C[補助金  
12,617千円]
    A --> D[旅費  
402千円]
    B --> B1[社団法人沖縄市観光協会  
11,186千円  
(・交付対象外経費 176千円)]
    B --> B2[株式会社国健  
9,744千円  
(・H25年度繰越)]
    B --> B3[中部観光バス株式会社  
4,488千円]
    C --> C1[社団法人沖縄市観光協会  
12,617千円  
(・別途受益者負担額 1,455)]
    D --> D1[・国外旅費]
    B1 --> B1a[・エイサー会館準備室運営に係る委託業務]
    B2 --> B2a[・エイサー会館基本方針策定に係る委託業務]
    B3 --> B3a[・エイサーまつりシャトルバス運行に係る委託業務]
    C1 --> C1a[・エイサーキャラバンに係る経費の補助]
    C1 --> C1b[・エイサーグッズ開発に係る経費の補助]
  
```

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	文化財等公開デジタル化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ア	
担当部課名	教育部 市立郷土博物館	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化源流を確認できる環境づくり - 1 - (1)		
事業内容	市民および観光客など利用者の利便性向上による誘客を図るため、市が所有している文化価値の高い収蔵品や映像資料、民話データ等のデータ公開システムを構築する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,579	-			
		(b) 予算現額	5,579	-			
		(c) 増減額 (b-a)	0	-			
		(d) 繰越額	-	4,550			
	A . 計 (b+d)		5,579	4,550			
	B . 執行済額		1,029	3,782			
	うち交付金充当額		823	3,025			
	次年度繰越額		4,550				
	執行率 (%) (B/A)		18.4%	83.1%			
予算の状況の説明		予算は目的に対して有効に活用できたと考える。平成24年度に執行したのは臨時職員の賃金と消耗品費で、平成25年度に繰り越したのはサーバー構築委託料である。委託を繰り越した理由はセキュリティの高い仕様をまとめるのに予想よりも時間がかかったことによる。24年度(繰越)の執行率が83%にとどまったのは、委託料が当初の予算よりも低い価格で落札できたことによる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	博物館資料のデジタルデータ化作業	目 標	(完了)	()	()	()	
		実 績	8割完了				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	概ね目的は達成できたと考える。郷土博物館資料の台帳のうち文化財、歴史民俗、自然については個人情報を含めた形ですでに完成していたが、考古台帳については整備されていなかったため、平成24年度は考古台帳の整備のための写真撮影、点数確認、状態記録を1,000件行った。全体のデータ化の約8割(歴史民俗4,000点、考古1,000点、自然史2,000点、写真50,000点)が終了したので、今後はデータ入力作業が中心となる システムについては平成25年度に繰り越して完成したが、博物館の台帳には個人情報が点在するため、入力の際は個人情報を手作業で削除する必要がある。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	博物館資料のデジタルデータ化作業	目 標	(完了)	(完了)	()	()	()
		実 績		8割完了			
	[参考指標] システムを活用した資料の紹介	目 標	(年30件)	(ー)	()	()	()
		実 績		ー			
	進捗状況説明	平成24年度、平成25年度はシステムの構築と習熟を行った。26年度以降はデータ入力とシステムの公開に努めたい。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	作業はシステムへの写真入力、個人情報の含まれた箇所の削除など人の手と作業担当者の判断に頼るところが大きい。また、公開用の情報では個人情報等を確実に削除したか、複数人で確認する必要がある。	不用意な情報の公開により、市民が不利益を被らないよう、最大限の注意を払う必要がある。 また、資料の活用法を紹介し、効果的な運用に結び付けたい。
今後の取り組み方針		
資料公開の手順については実際に作業を行いながら問題点を洗い出し、マニュアル化を図ることとする。また、わかりやすい資料紹介など、興味を引いてもらえる取り組みを検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		4,811	4,811	3,848	963	

文化財等公開
デジタル化事業
4,811千円

委託料
3,782千円

賃金
1,024千円

需要費
5千円

文化財等公開システム構築委託業務
株式会社サンコー(指名競争入札・25年度に繰り越し)

臨時職員の賃金 8月～3月

消耗品の購入

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 指名競争入札は市内業者等からアンケートを聴取し、業者選定を行った。 ○ 支出規模は、事業目的上、必要最低限にとどめた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	戦後文化資料等展示事業(デジタル化)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部課名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 2 7 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり - 1 - (1)		
事業内容	沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」のさらなる誘客の拡大を図るため、本市関係戦後新聞記事資料のデジタル化を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	75,470	-			
		(b)予算現額	75,470	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	75,470			
		A.計(b+d)	75,470	75,470			
	B.執行済額		0	75,470			
	うち交付金充当額		0	60,376			
	次年度繰越額		75,470	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		繰越の理由:新聞記事の抽出件数は当初約60万件余りを見込んでいたが約62万件に上ったことや、記事のトリミング方法・検索システムの内容調整、記事のOCR編集についての勉強会や専門家との意見交換会により内容の再検討を行ったこと、さらに作業の過程でつづれ字や文字化けが頻発し、手作業で修正するという状況も発生し、作業期間に不測の日数を要した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	新聞記事デジタル化作業	目 標	(約60万件)	()	()	()	
		実 績	約62万件				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	平成24年度は1945年～1974年及び2006年～2011年の新聞記事を対象とし、沖縄市関係記事の抽出作業、記事のトリミング、OCR処理作業、検索データベースシステムの作成等の作業により、新聞記事のデジタル化を行った。特に、記事の抽出作業においてマンパワーによる丹念な抽出作業が行われた結果、計画内容を上回る件数を達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	新聞記事デジタル化作業進捗状況	目 標	()	(60%)	()	()	()
		実 績		100%			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	平成24年度は1945年～1974年及び2006年～2011年の新聞記事を対象に、沖縄市関係記事のデジタル化を行った。新聞記事デジタル化作業の成果目標60%とは、平成24年度末(H25年3月)までの進捗状況についての目標値であり、繰越をして平成25年6月末までに100%を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化) ○ スキャナーの認識率が予想以上に悪く、つぶれ字や文字化け等が頻発し、手作業で修正するという不測の作業が生じた。 ○ 紙資料から手作業で沖縄市関係記事を見つけ出すという作業のため、多数の人員が必要であり、人員の確保が課題。また手作業での抽出作業のため、抽出漏れも懸念される。	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点) ○ 抽出漏れの防止や作業効率を向上させるため、新聞記事のデジタルデータが利用できないかを検討する。
	今後の取り組み方針 ○ 新聞記事のコンテンツ入手について検討する。 ○ コンテンツを入手しPC操作に作業を切り替えることができれば、抽出漏れの懸念も解決でき、より効率的な事業の執行ができると思われる。 ○ 公開基準について、事例を検証しながら関係機関との協議を検討する。 ○ 平成25年度以降は沖縄タイムス・琉球新報両紙の1974年～2001年および2012年～2015年(各年対象記事は15,000件余りと想定)の新聞記事デジタル化を予定している。	

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
75,470	75,470	60,376	15,094	0


```
graph LR; A[沖縄市  
75,470千円] --> B[委託料  
75,470千円]; B --> C[株式会社Nansei  
75,470千円]; C --- D([戦後新聞記事データベース作成業務委託]);
```

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者は指名競争入札により決定しており、支出先の選定方法は妥当であったと考えている。 ○ 費目・使途については事業完了時に支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		2-スポーツ推進整備事業		沖縄 2 1 世紀ビジョン基本計画該当箇所		第 3 章-2-(1)-イ		
担当部課名		教育部 市民スポーツ課		事業実施（予定）年度平成 2 4 ～ 2 8 年度		「スポーツアイランド沖縄」の形成		
				沖縄振興基本方針該当箇所		- 1 - (1)		
事業内容		多くの市民そしてスポーツ合宿団体が利用する沖縄市総合運動場について、施設とスポーツ備品を整備し、より利用しやすい体育施設・スポーツ合宿地として強化し、利用者の競技力向上や健康増進はもとよりスポーツ合宿の増大による観光振興を図る。平成24年度繰越事業としては、プロサッカーチームの活動支援（練習会場の提供）やスポーツ合宿誘致を主な目的としたサッカー場人工芝敷設工事等を予定していた。しかし、サッカー場予定地（米軍基地返還跡地）から米軍基地由来の遺棄物が発見され、その付着物からダイオキシン類を含む毒性物質が確認されたことなどから、繰越後、工事途中で事業完了となった。						
実施方法		■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		予算の状況	(a)当初予算額	310,810	-			
			(b)予算現額	435,495	-			
			(c)増減額(b-a)	124,685	-			
			(d)繰越額	-	408,800			
			A．計(b+d)	435,495	408,800			
		B．執行済額		13,584	84,528			
		うち交付金充当額		10,867	67,622			
		次年度繰越額		408,800	0			
		執行率（％）(B/A)		3.1%	20.7%			
予算の状況の説明		・24年度予算の増減額が多いのは、事業拡充により、補正予算で工事費を計上したためである。 ・サッカー場の工事は、人工芝については、関係者調整や新たな機能要望などの対応に時間を要したため、既存スタンドへの屋根設置については、利用者の強い要望から急遽予算化したため、25年度に繰り越した。 ・24年度(繰越)事業の執行率が低いのは、繰越後、工事途中で事業完了となったことが原因である。						
活動目標（指標）及び達成状況		H24活動目標（指標）		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		サッカー人工芝化の実施設計	目 標	(実施設計)	()	()	()	
			実 績	実施設計の完了				
		備品整備	目 標	(備品 2 件)	()	()	()	
			実 績	備品 3 件				
達成状況説明	人工芝工事の実施設計および備品整備については目標通りに達成できた。備品購入内容としては、振動型トレーニング機器2台、マッサージチェア2台、ジュニア用サッカーゴール2組である。当初の予定は、トレーニングルーム用備品2件()であったが、サッカー場及び陸上競技場での小学生サッカー大会開催のために整備する必要がある を追加で購入している。上記に加え、サッカー場の整備(人工芝、スタンド屋根)を予定していたが、米軍基地由来の遺棄物が発見されたことから、工事途中で事業完了となった。							
成果目標（指標）及び進捗状況		H24成果目標（指標）		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		サッカー人工芝化の実施設計 備品整備	目 標	()	(実施設計 備品 2 件)	()	()	()
			実 績		実施設計完了 備品 3 件			
		[参考指標] スポーツ施設利用者数(独自調査) スポーツ合宿延べ宿泊者数(独自調査)	目 標	(596,605 11,502)	(608,500 12,000)	()	()	()
			実 績		768,290 9,119			
		進捗状況説明	○参考指標であるスポーツ施設利用者数について、H24年度実績としてはスポーツイベント等の利用増などで基準値を超える人数となっている。主な増加理由としては、体育館のプロバスケットボールBjリーグ試合数の増に伴う利用者数増加となるが、施設全体的に増加傾向となっている。 ○施設の一部(陸上競技場、サブトラック兼ソフトボール場)で集計ミスがあり、13万人多くカウントされていた。(集計ミスはH25年度に発覚。H25年度事業検証シートで説明と改善取組等記載。) ○参考指標であるスポーツ合宿延べ宿泊者数について、H24年度実績では、野球場の建替えにより野球関連合宿の受入れが出来なかったことが影響し減となっている。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化) ○ スポーツ施設利用者については大幅な増加であった。一般利用やスポーツ大会、スポーツイベント等については順調に推移している。 ○ スポーツ合宿利用者については野球場建替えの影響はあるが減となっている。 ○ 施設や備品の整備によるスポーツ合宿利用者増加につなげる仕組みが弱い。(現状はWebサイトでの紹介のみ) ○ サッカー場整備(人工芝化、スタンド屋根設置)について、工事中の遺棄物発見に関する事案について、諸問題が解決するまで整備を進めることができなかった。	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点) ○ スポーツ大会やスポーツ合宿等の更なる誘致に繋がる取組が望まれる。 ○ 利用者ニーズを把握し、継続して施設や備品の整備を行う必要がある。
	今後の取り組み方針 ○ スポーツ合宿誘致に関する担当部署や関連機関と連携し、県内外へのアプローチを強化していく。 ○ スポーツ合宿利用者へアンケートを実施。施設や備品整備についてのニーズ確認を行う。 ○ サッカー場全域の調査、原状回復等が終わり次第、再度サッカー場の人工芝化工事を進めていく。	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
98,112	98,112	78,489	19,623	0


```

graph LR
    A[沖縄市  
98,112千円] --> B[委託料  
6,652千円]
    A --> C[備品購入費  
4,673千円]
    A --> D[嘱託報酬  
1,235千円]
    A --> E[臨時賃金  
1,024千円]
    A --> F[工事請負費【繰越】  
84,528千円]
    
    B --> B1[有限会社 住吉土木設計  
6,090千円]
    B --> B2[一般財団法人 建設物価調査会  
338千円]
    B --> B3[一般財団法人 建設物価調査会  
224千円]
    
    C --> C1[有限会社 福地商会  
4,200千円]
    C --> C2[有限会社 エレメンツ  
473千円]
    
    F --> F1["(有)内盛産業・琉球道路(株) JV  
84,528千円"]
  
```

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 契約については、指名競争入札を実施。また、工事入札の指名については、市業者選定委員会にて選定、備品入札の指名についても「沖縄市物品買入れ等指名競争入札参加者指名基準に関する要綱」に準じて執行しており、妥当な事務手続きであると考えている。 ○ 予算執行率については、工事中の遺棄物発見に伴い、未執行や事業途中での完了があり、執行率が低い状態である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	道路緑化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設部 建築・公園課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						- 1 - (1)	
事業内容	観光周辺道路のにぎわいを演出するため、四季おりおりの草花を植栽する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(b)予算現額	33,600	-			
		(c)増減額(b-a)	33,600	-			
		(d)繰越額	0	-			
		A. 計(b+d)	-	33,600			
	B. 執行済額		33,600	33,600			
		うち交付金充当額	0	32,585			
			0	26,067			
	次年度繰越額	33,600					
	執行率（％）(B/A)	0.0%	97.0%				
予算の状況の説明	国道、県道に緑化する計画であるが、緑化場所や道路占用許可および管理に関する調整に不測の日数を要し、繰り越しを行ったが計画していた事業内容は適正に実施できた。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	道路緑化箇所	目 標	(4箇所)	()	()	()	
		実 績	1箇所				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	公共道路の外部空間を利用し、四季の草花を植栽し花いっぱい潤いのあるまちづくりの定着のため、草花苗等を植え替えし、市民の緑化意識の向上が図れた。 当初計画では国道・県道を含む4箇所を予定していたが、プランター等の歩道への設置について幅員の減少などの問題もあり設置が厳しい状況であったため、1箇所のための整備となったが延長を拡充し整備を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	道路緑化箇所	目 標	()	(4箇所)	()	()	()
		実 績		1箇所			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	植樹帯をメイン通りに設けることで、緑の創出を図り、観光地の振興に寄与することができた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	国道、県道を含めて緑化する計画で、緑化場所や道路占用許可および管理に関する調整を行ったが実施できない箇所があった。	関係機関との調整を円滑に進めていく必要がある。
今後の取り組み方針		
緑化後の維持管理について、人材や財源の確保などの検討が必要であるため、平成24年度のみの実施になった。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
32,585	32,585	26,067	6,518	


```

graph LR
    A[沖縄市  
32,585千円] --> B[委託料  
32,585千円]
    B --> C[道路緑化業務委託  
32,487千円]
    B --> D[道路緑化推進事業特別調査業務委託  
98千円]
    C --> E[株式会社 沖縄ガーデン  
32,487千円]
    E --- F([壁面緑化  
花壇整備  
プランター設置])
    D --> G[一般財団法人 経済調査会 沖縄支部  
98千円]
    G --- H([積算に必要な  
設計単価決定の  
為の調査])
  
```

The flowchart illustrates the distribution of 32,585 thousand yen from Okinawa City. The funds are first allocated to a 'Commission Fee' of 32,585 thousand yen. This fee is then split into two main paths: a primary path for 'Road Greening Business Commission' (32,487 thousand yen) and a secondary path for 'Road Greening Promotion Business Special Investigation Business Commission' (98 thousand yen). The primary path leads to 'Shokai Kaisha Okinawa Garden' (32,487 thousand yen), which is associated with 'Wall Greening, Flower Bed Maintenance, and Planter Installation'. The secondary path leads to 'General Incorporated Association Keizai Chousa-kai Okinawa Branch' (98 thousand yen), which is associated with 'Investigation for determining unit prices required for accumulation'.

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の 流れ、 費目、 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 業務委託は指名競争入札にて決定しており、支出先の選定方法は妥当であったと考える。 ○ 委託費の積算については単価見積り比較等により適正に行っている。 ○ 費目・使途については、業務完了後に支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	道路景観形成推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設部 道路課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						- 1 - (1)	
事業内容	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、道路植栽の整備計画をはじめ、道路空間活用計画や道路紙の整備計画の検討、道路照明設置やデザインの検討などを行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	37,533	-			
		(b)予算現額	34,665	-			
		(c)増減額(b-a)	▲ 2,868	-			
		(d)繰越額	-	15,367			
		A. 計(b+d)	34,665	15,367			
		B. 執行済額	19,298	15,341			
		うち交付金充当額	15,438	12,272			
		次年度繰越額	15,367	0			
		執行率（％）(B/A)	55.7%	99.8%			
	予算の状況の説明	・委託契約の入札差額等により当初予算と予算現額に差額が発生した。 ・基本計画の策定にあたり、現場と台帳図面の不整合の調整に時間を要したため、15,342千円を繰越した。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・市道沿線環境美化業務 ・照明灯LED化調査業務	目 標	（ ・10路線 ・20路線 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	・10路線完了 ・20路線完了				
	・照明灯デザイン制作業務 ・道路植栽等整備計画策定業務	目 標	（ ・デザインの制作 ・計画の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	・デザイン制作完了 ・計画策定完了				
達成状況説明	当初の目標通り、観光地周辺道路における市道沿線環境美化、照明灯LED化調査、照明灯デザイン制作、道路植栽等整備計画の策定を行った。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・市道沿線環境美化業務 ・照明灯LED化調査業務	目 標	（ ）	（ ・10路線 ・20路線 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		・10路線完了 ・20路線完了			
	・照明灯デザイン制作業務実施	目 標	（ ）	（ ・デザインの制作 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		・デザイン制作完了			
	進捗状況説明	当初の目標通り、観光地周辺道路における市道沿線環境美化、照明灯LED化調査および照明灯デザイン制作を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 平成24年度(繰越)は、整備計画20路線における照明灯LED化調査および道路植栽等整備計画を策定した。今後は、調査結果に基づく整備および基本計画に基づく路線ごとの実施設計を行う必要がある。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 照明灯LED化においては、エリアごとの整備年度計画に基づき整備を行う。また道路植栽等整備計画に基づく路線ごとの実施設計においては、各路線沿線の自治会の意見聴取や住民との意見交換を密に行い、観光に寄与する事業として整備内容の詳細な検討を行う。
	今後の取り組み方針 基本計画に基づく路線ごとの実施設計時には、工事着手にスムーズに移行できるよう、地元自治会や地域住民との調整を密に行う。継続的な事業推進を図る。	

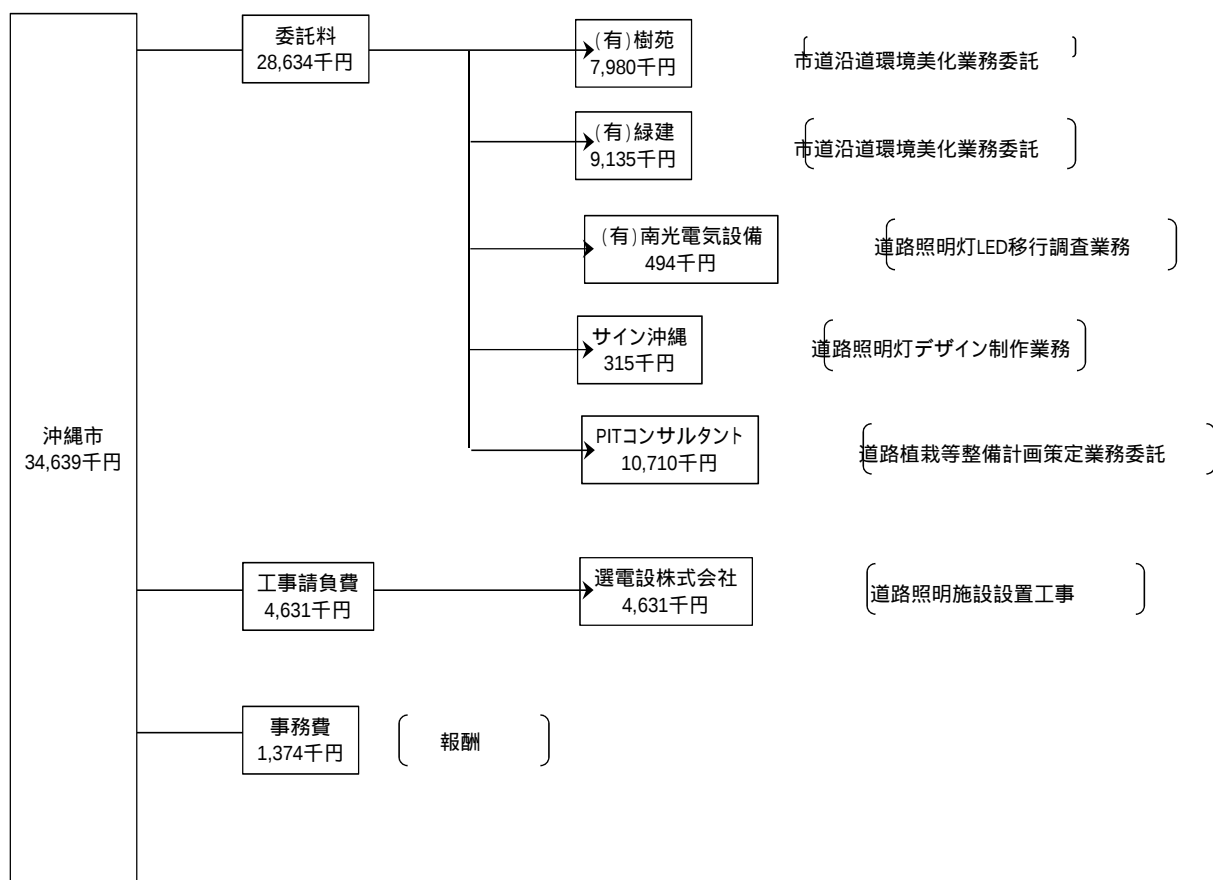
今後の取り組み方針

基本計画に基づく路線ごとの実施設計時には、工事着手にスムーズに移行できるよう、地元自治会や地域住民との調整を密に行う。
継続的な事業推進を図る。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
34,639	34,639	27,710	6,929	



千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の流れ、費目、 使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 受託者は、指名競争入札により決定しており妥当であると考える。 ○ 委託業務費の積算については、積算歩掛け等により適正に行っている。 ○ 費目・使途については、委託業務完了後に支出等に関する書面により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	沖縄こどもの国施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章 - 3 - (2) - ア		
担当部課名	こどものまち推進部　こども企画課 建設部　建築・建築公園課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 ～ 3 2 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成		
事業内容	次世代を担う子どもたちの科学への興味や豊かな感性を育てるため、ワンダーミュージアム展示品等整備およびロボット展を開催するとともに、琉球弧の動物展示施設整備を行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	727,682	-			
		(b)予算現額	727,682	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	694,452			
	A．計(b+d)		727,682	694,452			
	B．執行済額		33,230	679,085			
	うち交付金充当額		26,584	543,267			
	次年度繰越額		694,452				
	執行率（％）(B/A)		4.6%	97.8%			
予算の状況の説明		ワンダーミュージアムの展示品整備については、整備先の公益財団法人と整備方針の調整等に不測の日数を要したため繰り越しとなったが、予算現額と差異のない適正な事業執行となっている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ワンダーミュージアム展示品の整備	目 標	(展示品整備)	()	()	()	
		実 績	展示品整備				
	沖縄こどもの国公園・琉球弧動物展示施設の実施設計および第1期工事の実施	目 標	(実施設計及び第1期工事)	()	()	()	
		実 績	実施設計及び第1期工事				
達成状況説明	沖縄こどもの国のワンダーミュージアムにおいて、展示品の整備を実施した。 こどもの国公園・琉球弧展示施設の畜舎及び擁壁の設計を行い建築工事及び施設整備の監理を行った。また、畜舎の建築工事、電気設備・機械設備工事を実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・沖縄こどもの国公園・琉球弧動物展示施設の実施設計および第1期工事の実施	目 標	()	実施設計及び第1期工事	()	()	()
		実 績		実施設計及び第1期工事			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	沖縄こどもの国ワンダーミュージアム展示品(34組)の整備及びワンダーミュージアム展示品の効果を高めるためワークショップ作成及び展示ガイドブックの作成、「ロボット企画展」の開催、琉球弧動物展示施設整備の実施等により、沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化や動物園の充実が図れた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・ワンダーミュージアム展示品整備については、整備する展示品の方向性の決定、現場調整に時間を要した。 ・琉球弧動物展示施設に関しては、公園施設内で複数工事が近接して行われたため、各工事の進捗等がスムーズにいかないことがあった。	・ワンダーミュージアム展示品整備については、既存展示品の評価、検証及び現場調整を十分にし、事業開始前に展示品の知識を高めるなど、円滑な展示品発注を行う必要がある。 ・琉球弧動物展示施設に関しては、各工事の施工区域や工期などを考慮し、スムーズな工事の進捗を目指す。

今後の取り組み方針

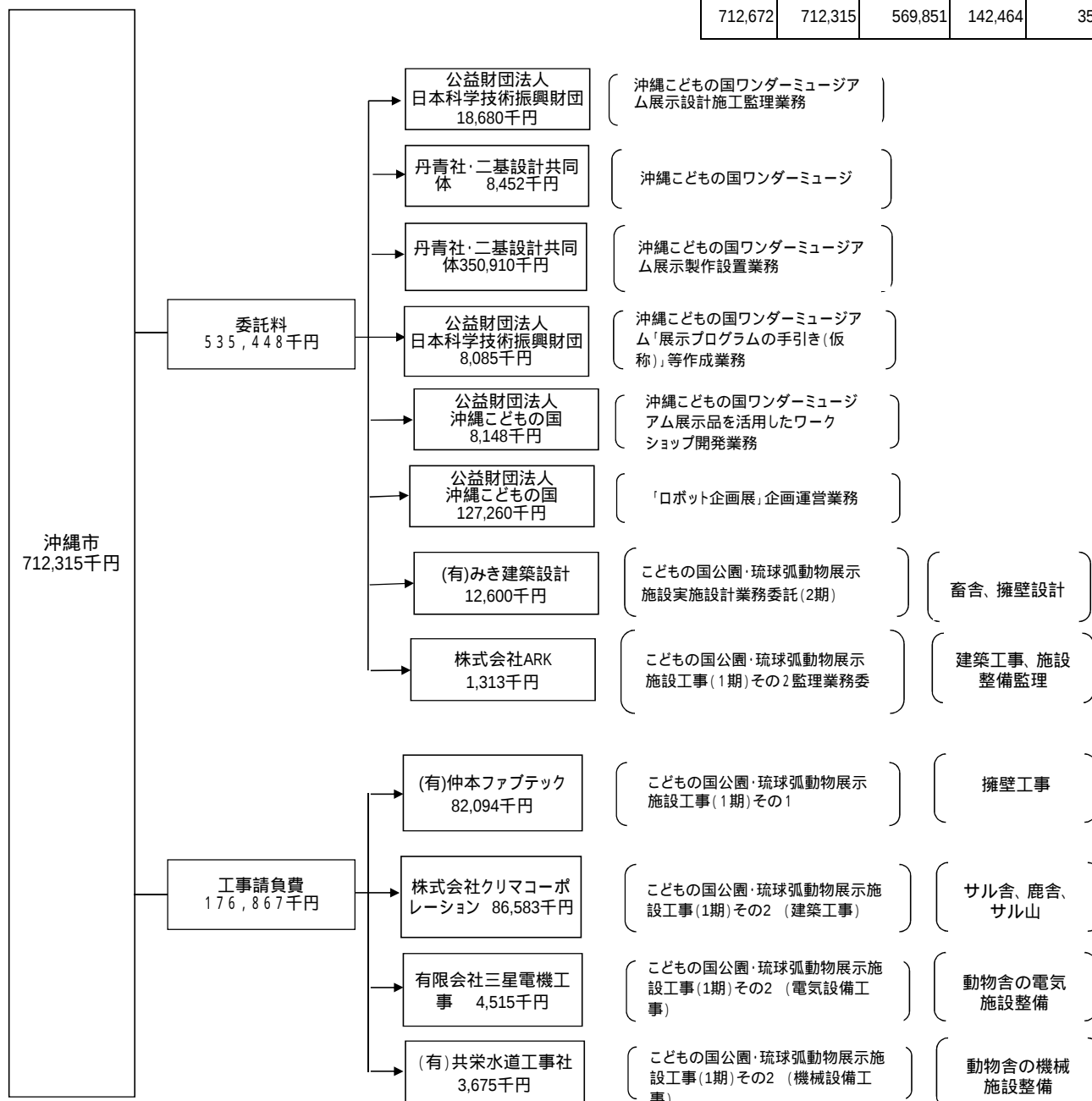
ワンダーミュージアムにおいて、整備した展示品の評価、検証をしつつ次回の展示品整備につなげる。また、作成したワークショップやガイドブックを普及啓発し、展示品のもつ効果をさらに高めていく。琉球弧動物展示施設については、進捗管理など各工事で連携を図りながら整備工事を実施していく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
712,672	712,315	569,851	142,464	35



資金の流れ、費目、 使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○展示計画設計は公募型プロポーザル方式により、実績、資格等を勘案したうえで選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○その他の契約については、特殊な業務であり、事業目的を達成するには、随意契約でしか対応ができないと判断し、妥当であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○業務委託・工事請負費は指名競争入札にて決定しており、支出先の選定方法は妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○委託費・工事費の積算については積算歩掛け、単価見積等により適正に行っている。 ○費目・使途については、業務完了後に支出等に関する書類により確認し、適正であった。

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	こどものまち推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (1) - ア	
担当部課名	こどものまち推進部　こども企画課		事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 2 8 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成 - 3 - (1)	
事業内容	こどもたちが夢に向かって元気にたくましく育つ環境をつくるため、こどものまち推進アクションプログラムの策定の実施。こども学講座、えほんの国の開設などを行った。アクションプログラムの策定にあたり、有識者や各種団体の代表者による策定会議を開催。こども学講座においては、こどものまち講演会を実施する等えほんの充実を図った。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（　）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	17,161	-			
		(b)予算現額	15,916	-			
		(c)増減額(b-a)	▲ 1,245	-			
		(d)繰越額	-	9,240			
	A．計(b+d)		15,916	9,240			
	B．執行済額		6,676	9,240			
	うち交付金充当額		5,340	7,392			
	次年度繰越額		9,240	0			
	執行率（％）(B/A)		41.9%	100.0%			
予算の状況の説明		平成24年度については、困難を抱えるこどもの実態に関する調査についての前例がなく、質問項目の設定に時間を要したことから繰越となる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	こどものまち推進アクションプログラムの策定	目 標	(アクションプログラムの策定)	()	()	()	
		実 績	アクションプログラムの策定				
	えほんの国の整備	目 標	(えほんの国の整備)	()	()	()	
		実 績	えほんの国の整備				
達成状況説明	こどものまち推進の拠点である沖縄未来ゾーン内においてえほんの充実を行った。また、こどものまち推進アクションプログラムにおいては、こどもにまちを推進をしていく「基本的な考え方」を整理し、取り組むべき事業などの位置づけをおこなった。こども市民会議(仮称)においては、内容について調整に時間を要し、実施することができなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	沖縄こどもの国来場者数	目 標	(383,559)	(385,000)	()	()	()
		実 績		392,349			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	こどものまち推進アクションプログラムの整備により、こどもまちにかかわる事業の整理が出来たことによって、事業の位置づけや重要性が再認識された。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	アクションプログラムについては、こどものまちを推進するにあたり、こどもにかかわる本市の各種事業を掲載したが、多数の部署にまたがる事業があることから、事業の進捗管理をどのように把握して行くかが課題である。	重点事業と捉える事業を選定し、状況確認を行うことが必要と考える。
今後の取り組み方針		
えほんの国の更なる充実の検討や、こどものまち推進アクションプログラム記載の重点事業については進捗管理を行い、各事業が計画的に推進されているか確認を行う。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
15,916	15,916	12,732	3,184	0

```

graph LR
    A[沖縄市  
15,916千円] --> B[委託料  
6,676千円]
    A --> C[委託料  
9,240千円]
    B --> D[公益財団法人  
沖縄こどもの国  
6,676千円]
    C --> E["(株)都市科学政策研究  
所9,240千円"]
    D --- F["(沖縄市こどもまち推進  
事業業務委託)"]
    E --- G["(沖縄市こどもまち推進  
アクションプログラム  
策定等業務)"]
          
```

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ こどものまち推進事業は、こどもを対象とする事業実施の経験を豊富に要する団体に委託 ○ アクションプログラム委託事業者は公募型プロポーザル方式により庁内選定委員会において選定しており妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-	こどもいきいき安心事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (2) - イ	
担当部課名	こどものまち推進部	こども家庭課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 8 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成 - 4 - (1)	
事業内容	こどもの割合が高い沖縄市において、こどもたちが安心して過ごすことができる場の確保・充実のため、放課後児童支援センターの設置、児童館の整備計画に伴うニーズ調査等を行う。具体的には、放課後や学校休業日における児童の居場所（地域独自の取り組みや放課後児童クラブ等）を把握し、地域との連携をはじめ、放課後児童クラブの資質向上や児童館整備など、こども達が安心して過ごすことのできる場の確保・充実を推進していく。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,744	-			
		(b) 予算現額	17,663	-			
		(c) 増減額 (b-a)	919	-			
		(d) 繰越額	-	5,171			
		A. 計 (b+d)	17,663	5,171			
	B. 執行済額		12,492	3,650			
	うち交付金充当額		9,992	2,920			
	次年度繰越額		5,171	0			
	執行率（％）(B/A)		70.7%	70.6%			
予算の状況の説明		・事業を実施するため、新たに放課後児童支援センターを設置したが、臨時職員の確保に時間を要した。（保育士・児童厚生員資格者） ・こどもの居場所に関するアンケート及び児童館整備計画の策定については、地域の聞き取り調査を行ない、調査項目を検討することに時間を要したため、委託料について次年度繰越を行なった。（平成25年度1月に事業完了） ・放課後児童支援センターの備品調達について、入札を行なったため、契約による差額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	放課後児童支援センターの設置	目 標	(設 置)	()	()	()	
		実 績	設 置				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・新たに「沖縄市放課後児童支援センター」の設置を行ない、こどもの居場所づくりに対する聞き取りや意向把握、放課後児童クラブの研修及び訪問等を実施した。 ・こどもの居場所づくりを推進するため、こどもの居場所に関するアンケート及び沖縄市児童館整備計画の策定を行なった。（平成25年度へ繰越し、完了）						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (平成23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	放課後児童支援センターの設置	目 標	(未設置)	(設 置)	()	()	()
		実 績		設 置			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・放課後児童支援センターに配置した放課後児童クラブ指導員及び指導員補助員による放課後児童クラブへの訪問を計147回行った。 ・市による放課後児童クラブの研修会を実施し、その資質向上に資するよう取り組んだ。（2講座開催。指導員参加延べ145人） ・こどもの実態把握調査員及び調査員補助員による児童向けの聞き取り調査を行ない、12か所で172人から回答を得た。 ・地域の聞き取り調査を進めたが、こどもの居場所に関するアンケートの調査項目の検討に時間を要したため、アンケート及び児童館整備計画の策定については、平成25年度に繰越し、事業を実施した。（平成25年度1月事業完了）					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・これまで地域の独自の子育て支援について把握できていない。 ・放課後児童の居場所となっている放課後児童クラブの資質向上が必要であるが、県や自主で行なっている研修内容と重複せず、また、受けやすい時期や時間に研修会を開催しなければならない。 ・子どもが安心して過ごすことができる場の確保・充実のため、児童館の整備などをすすめる必要がある。	・放課後児童支援センターの地域への聞き取り調査については、全自治会で行なうことにより、地域独自の子育て支援の現状把握、行政と地域との連携やその取り組みを周知していく必要がある。 ・研修の内容について放課後児童クラブと意見交換をおこなう必要がある。また、研修会メニューを増やしていくため、こどもに関係する研修を実施している機関と連携していく必要がある。 ・継続して、子どもが集まる場所(学校や公園、健診会場等)で聞き取り調査を行なうとともに、地域と連携しながら、こどもの居場所づくりを進めていく必要がある。
今後の取り組み方針		
平成25年度においては、放課後児童クラブ研修会の開催数を増やす。そのため、放課後児童支援センターの主催以外にも、こどもに関係する機関が実施する研修等について、放課後児童支援センターが市内放課後児童クラブへ周知するなどコーディネートを行なう。 また、策定した児童館整備計画を進めていくとともに、地域の聞き取り状況を踏まえ、地域との連携を行ないながら、こどもの居場所づくりを進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象 事業費	交付対象 外経費
		16,142	16,142	0
16,142千円 沖縄市	報酬 3,239千円	放課後児童支援センター長 1人 放課後児童クラブ指導員 2人 こどもの実態把握調査員 1人 放課後児童クラブ会計指導員 1人		
	賃金 2,154千円	放課後児童クラブ指導員補助員 1人 こどもの実態把握調査員補助員 2人		
	委託料 4,506千円	NPO法人こころひまわり 856千円 (株)都市科学政策研究所 3,650千円 (平成25年度繰越分)	放課後児童クラブ支援員研修会 ・指導員研修 4日間 ・積み木ワークショップ 6グループ(6回開催)	
	工事費 961千円	ジャストリフォーム 910千円 (株)プロスタッフ 51千円	事務所設置工事 情報線工事	
	備品購入費 4,779千円	株式会社サンコー 851千円 有限会社トムテ 2,283千円 (株)スズキ自販沖縄 1,645千円	事務用品 274千円 OA機器 577千円 集団遊び用積み木等 (WAKU-BLOCK、遊びの創造共育) 軽自動車 2台 自治会、学校、放課後児童クラブ等への訪問用	
	事務費 503千円	複写機借上料 その他消耗品		
	千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。			
資金の流 点検・ 評価目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 備品の調達については、入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○ その他、職員配置や事業実施は、本庁外に放課後児童支援センターを設置し、業務を実施しているため、交付金の充当は、本事業のみに当てられていると考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	ITワークプラザスタジオ設備改修事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (3) - イ	
担当部課名	経済文化部 雇用対策課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	県内立地企業の高度化・活性化	
事業内容	情報通信関連施設の利用環境を向上し、コンテンツ産業等における雇用の創出を図るため、モーションキャプチャーシステムを改修する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 ■ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	132,952	-			
		(b)予算現額	120,345	-			
		(c)増減額(b-a)	▲ 12,607	-			
		(d)繰越額	-	116,844			
	A. 計(b+d)		120,345	116,844			
	B. 執行済額		3,501	116,844			
	うち交付金充当額		2,800	93,475			
	次年度繰越額		116,844	-			
	執行率(%) (B/A)		2.9%	100.0%			
予算の状況の説明		・平成24年度内で完了したスタジオ改修基本計画・設計業務を元に購入するモーションキャプチャーシステムの仕様を決め市内注文業者と契約したが、特殊な機材で製造・設置に3～4ヶ月の施工期間が必要なため、契約時期が年明けの1月だったことから平成25年度に繰り越しての整備となった。					
活動目標(指標)及び達成状況			達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	モーションキャプチャーカメラ設置台数	目 標	(32台)	()	()	()	
		実 績	32台				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	目標通りカメラ32台を設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	モーションキャプチャーカメラ設置台数	目 標	(32台)	(32台)	()	()	()
		実 績		32台			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	新たなカメラを32台設置したことにより、利用者のニーズに対応することができる。また、近年モーションキャプチャースタジオは首都圏に多く設置されており、沖縄という地域特性を生かしたスタジオづくりに取り組み、更なる利用率の向上を図る。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) ・H21～H25のスタジオ利用件数は平均26件と横這いであったが、新型のカメラを導入したことで今後は利用率の向上を図りたい。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・様々な業種や団体等に幅広く活用してもらえるようPRする。 ・PRの一環である施設見学や体験学習に常時対応できるように、担当職員の機材操作方法の技術向上を図る。
	今後の取り組み方針 ・スタジオの利用率の向上を目指し、様々な業種が利用できるよう周知活動に努めるとともに、それに伴う担当者の技術向上を図る。 ・最新のカメラ導入で設備環境が向上したことにより、これまでの映画やアニメーション等の基本的なエンターテインメントの他、リハビリ等の医療やスポーツ技術の向上のための研究等、新たな分野への活用を進めていく。	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
120,345	120,345	96,275	24,070	0


```

graph LR
    A[沖縄市  
120,345千円] --> B[報酬  
1,750千円  
嘱託職員報酬]
    A --> C[旅費  
71千円  
先進地視察旅費]
    A --> D[委託料  
1,680千円  
改修業務基本計画・設計委託]
    A --> E[備品購入  
116,844千円  
モーション・キャプチャー]
    D --> F[合資会社 環境設計無限]
    E --> G[株式会社 サンコー]
  
```

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者、備品購入業者は共に指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	中城湾港新港地区物流促進支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (4) - ア	
担当部課名	経済文化部 雇用対策課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 7 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	臨空・臨港型産業の集積による国際物流拠点の形成		
					- 2		
事業内容	港湾機能の充実により地元中小企業の振興と雇用創出を図るため、中城湾港新港地区においてコンテナ等の整備に対する支援や物流運送にかかる支援の実施および物流促進に関する調査・検討を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	55,641	-			
		(b)予算現額	80,806	-			
		(c)増減額(b-a)	25,165	-			
		(d)繰越額	-	26,364			
	A. 計(b+d)	80,806	26,364				
		B. 執行済額	54,442	24,292			
		うち交付金充当額	43,553	19,434			
		次年度繰越額	26,364	0			
	執行率(%) (B/A)	67.4%	92.1%				
予算の状況の説明	・事業拡充により予算増を行ったため、当初予算額と予算現額に開きがある。 ・当該事業費には、支援金委託事業(11,490千円)、コンテナ補助事業(62,939千円)、調査委託事業(4,305千円)の3事業が含まれている。 ・繰越額(26,364千円)はコンテナ補助金の繰越である。繰越理由としては、コンテナの購入は新たな需要に対応し整備するが、受注生産のため納品までに時間を要したためである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・港湾機能の充実に向けた調査委託等の実施	目 標	(調査委託の実施)	()	()	()	
		実 績	調査委託の実施				
	・物流コンテナの購入補助	目 標	(コンテナ購入補助)	()	()	()	
		実 績	コンテナ購入補助				
	達成状況説明	・調査委託事業及びコンテナの購入補助ともに計画通り実施できた。 内訳 コンテナ10ftハーフ・・・20本 12ft・・・80本 20ftハーフ・・・15本、カバーシート30枚 20ft・・・60本 計175本					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	中城湾港における実証実験船貨物量	目 標	()	(450t/回)	()	()	()
		実 績		442t/回			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・委託事業内での広報活動及び調査事業及びコンテナ購入補助事業により、3事業(支援金委託事業、コンテナ補助事業、調査委託事業)の目標は、概ね達成できている。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・積極的な事業周知のための広報活動により、貨物量は順調に伸びている。調査委託事業では、立地企業からは定期船就航への期待が大きい。 ・コンテナの整備は、事業効果の促進につながっている。 ・下り便については貨物量が増えてきたが、上り便の貨物量が伸び悩んでいる。	・貨物量を増やすためにも市内企業への周知が課題であるため、さらなる広報活動が必要。
今後の取り組み方針		
・市内企業への周知及び上り便の実証実験について、立地企業からの要望があるため県・関係機関(うるま市、船会社、港運会社や企業等)と調整し、取扱貨物量の増大、定期船就航に向け取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
78,734	78,734	62,987	15,747	0


```

graph LR
    A[沖縄市  
78,734千円] --- B[委託料  
11,490千円]
    A --- C[補助金  
62,939千円]
    A --- D[調査委託料  
4,305千円]
    B --- E[中城湾港運株式会社  
11,490千円]
    E --- F[中城港を利用する各企業へ  
品名・集荷量に応じて運送費を補助]
    C --- G[中城湾港運株式会社  
62,939千円]
    G --- H["コンテナ購入時10,491千円を負担  
(1割負担+消費税)"]
    D --- I[株式会社沖縄建設技研  
4,305千円]
  
```

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の流れ、費目、使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 調査委託事業についてはプロポーザル方式により選定。 ○ 受託事業社は、市内唯一の荷役業者であり、県の実証実験と連携し事業展開を行っているため、随意契約とした。 ○ 運送費等の一部(2/3)を助成しているが、受益者も1/3を負担している。また、コンテナ補助については1割の負担をしているので、負担関係は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-雇用基盤等環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(10)-ア		
担当部課名	建設部 区画整理課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 - 2	
事業内容	企業誘致の促進および雇用の創出を図るため、都市基盤が脆弱な状況にある準工業地域等において、整備計画や実現方策並びに誘致企業の検討など、雇用および経済効果の可能性を調査する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	11,500	-			
		(b)予算現額	11,500	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	10,204			
		A.計(b+d)	11,500	10,204			
	B.執行済額		1,296	10,204			
	うち交付金充当額		1,036	8,163			
	次年度繰越額		10,204	0			
	執行率（％）(B/A)		11.3%	100.0%			
予算の状況の説明		次年度繰越した理由：調査方法の決定にあたり、「対象エリアの設定」、「本市中心市街地活性化基本計画に関連する準工業地域（建築制限）の取扱い」、「既往調査（筆界未定、私道、墓地）の追加」、「庁内組織検討委員会の設置」の要望等があり、事業費予算（9月補正予算）と工期の見直しを行ったことにより、その調整に不測の日数を要した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	産業・雇用基盤に係る目指す将来像について基本構想（案）、基本方向（案）の策定	目 標	基本構想（案）、 （基本方向（案））策定				
		実 績	基本構想（案）、基本方向（案）策定				
		目 標					
		実 績					
達成状況説明	実態調査や環境評価により明らかになった問題・課題や産業導入の方向性等を踏まえ基本方針及び基本的構成を設定し、基本構想（案）を作成した。また、基本構想（案）で定めた各ゾーン毎にその構想を計画に展開していくための基本方向を設定し、その中から「産業・雇用を創出する基盤整備」に係る基本方向を抽出した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
	産業・雇用基盤に係る目指す将来像について基本構想（案）、基本方向（案）の策定	目 標	（ - ）	基本構想（案）、基本方向（案）策定			
		実 績		基本構想（案）、基本方向（案）策定			
	【参考指標】事業実施による直接の雇用者数を平成33年度までに約5,000人を確保する。	目 標	（ - ）	（ 0人 ）			（ 5,000人 ）
		実 績					
	進捗状況説明	「産業・雇用を創出する基盤整備」に係る基本方向をもとに、準工業地域を中心とした基盤整備に必要な取組をおこなう。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 1. 基盤整備の実現に向けた課題として、各関連事業者との調整・連携、関係地権者・経営者・住民等へのアプローチ、予算確保とスケジュール管理を整理した。 2. 産業導入の実現に向けた課題として、進出企業のニーズの把握、他の産業地との連携・バランス、スマートインター整備の計画への位置づけ、企業誘致支援策の導入を整理した。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・企業誘致の円滑な実施には、スマートインターの整備が必要不可欠なことから、整備に向け取り組む。 ・基盤整備実現には多岐にわたる事業が同時進行することになるため、各事業者の役割分担を明確にするとともに、コントロールをおこなう。 ・地権者等の理解を得るために、説明会等を実施することで合意形成を推進する。 ・基盤整備は膨大な事業費となることから、他事業との事業費調整や年度スケジュール管理をきめ細かにおこなう。 ・基盤整備後の企業誘致を円滑に行うために、企業ニーズを的確に把握する。 ・沖縄県の経済発展を見据えた誘致企業の設定をおこなう。 ・企業誘致を円滑に進めるために、支援策の検討を行う必要がある。
	今後の取り組み方針 ・企業誘致に必要な誘致企業の方針等の検討やスマートインターの整備に向けての調査検討を実施するとともに、関係機関との調整を行う。 ・基盤整備の計画検討のなかで、各事業者の役割分担や地権者等への説明会等を実施する。 ・企業ニーズの把握調査や企業誘致の支援策の検討を行う。	

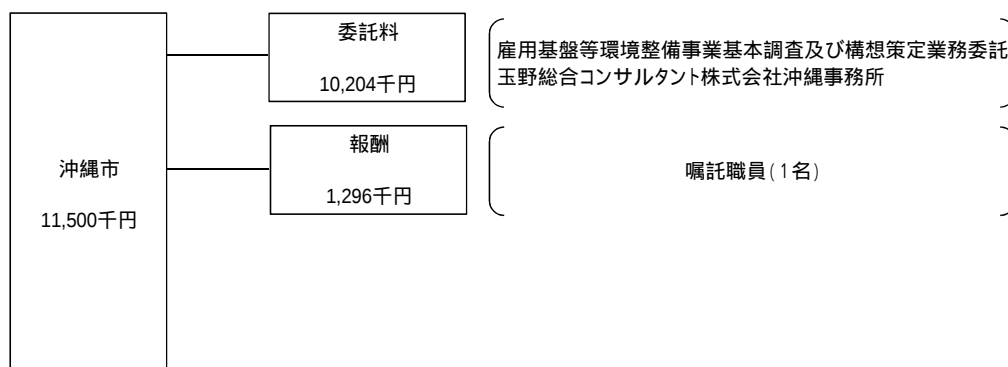
今後の取り組み方針

- ・企業誘致に必要な誘致企業の方針等の検討やスマートインターの整備に向けての調査検討を実施するとともに、関係機関との調整を行う。
- ・基盤整備の計画検討のなかで、各事業者の役割分担や地権者等への説明会等を実施する。
- ・企業ニーズの把握調査や企業誘致の支援策の検討を行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費
		市町村 負担金		
11,500	11,500	9,199	2,301	0



千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者は業者選定委員会で選定された6業者を指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 費目・使途は事業目的に合致しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	沖縄市振興計画検討調査事業			沖縄 21 世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第 3 章 - 3 - (10) - ア	
担当部課名	企画部 政策企画課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者 支援 - 2	
事業内容	企業誘致の促進および雇用の創出を図るため、本市の持つ地域資源や可能性及び優位性等の調査・検討を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+ 「市町村負担」 ベース）			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	16,485	-			
		(b)予算現額	16,485	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	16,485			
	A．計(b+d)		16,485	16,485			
	B．執行済額		0	16,464			
	うち交付金充当額		0	13,171			
	次年度繰越額		16,485	0			
	執行率（％）(B/A)		0.0%	99.9%			
予算の状況の説明		現状を把握するため、有識者等からの意見で、市民および企業等を対象とした調査を行うこととなり、調査対象の絞り込みおよび日程調整に不測の期間を要したため明許繰越をおこない、調査を計画通り完了した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	沖縄市振興計画策定に向けた調査・検討の実施	目 標	(調査・検討の実施)	()	()	()	
		実 績	調査・検討の実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	沖縄市を取り巻く環境・特性の整理として、産業については世界・国内・県内の概況、雇用については国内、県内の概況を整理した。また、沖縄市の産業・雇用に関する概況として、地域特性や労働力・雇用情勢、産業インフラ、就業環境・居住環境等を整理した。 これらを踏まえ、課題の整理、産業・雇用振興計画の方向性を取りまとめた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (33年度)
	沖縄市振興計画策定に向けた調査・検討の実施	目 標	(-)	(調査・検討 の実施)	()	()	()
		実 績		調査・検討の実施			
	【参考指標】 検討した事業モデルを実施することで、平成33年度までに直接効果で約1,900人の雇用者を確保する。	目 標	(-)	(0人)	()	()	(1,900人)
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	沖縄市を取り巻く環境・特性の整理や沖縄市産業・雇用振興計画の方向性を整理しており、今後これら成果を活用して計画の策定を目指す。また、これら調査資料から事業モデルを検討しており、企業誘致に係る基盤整備についてさらに検討を進める。					

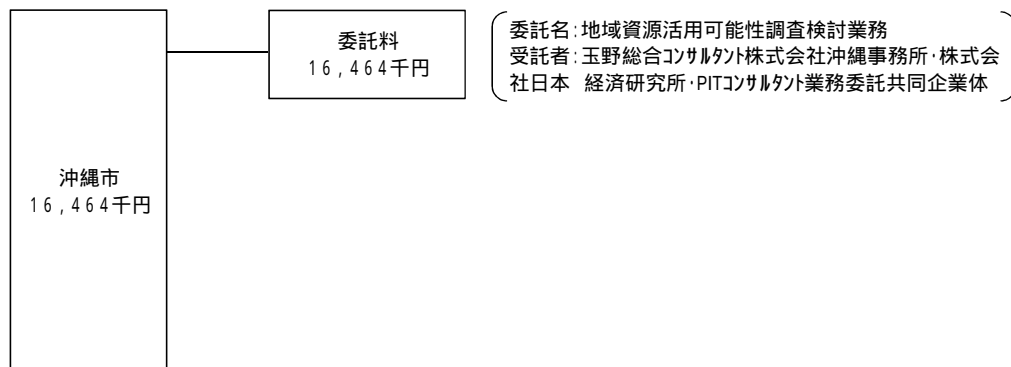
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化) 推進上の留意点として、企業誘致に関すること、産業・雇用振興に向けたハード施策に関すること、産業・雇用振興に向けたソフト施策に関すること、庁内体制の構築に関すること、地元合意形成に関することを課題として整理した。	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点) 企業ニーズを把握し、進出企業の絞り込みや企業との調整による各種条件の精査を行うとともに、社会経済動向を注視した企業誘致活動が必要。 企業誘致の受け皿となる都市基盤の適切な整備、実現手法の絞り込み、企業ニーズを踏まえた事業計画が必要。 企業誘致に関する各種優遇措置等のソフト面での施策を充実させることが必要。 庁内の連携・調整を円滑に図る体制づくり、ノウハウをもつ外部機関の活用、熟練技術者の活用を検討することが必要。 事業の円滑な実施のため、地権者等の意向把握や情報の提供等を行い、合意形成を推進することが必要。
	今後の取り組み方針 ・事業が円滑に実施されるよう、庁内の体制づくり等を検討する。 ・企業ニーズや地権者意向等から都市基盤の適切な整備手法等を検討する。 ・地権者等への情報提供等をおこない、合意形成を推進する。 ・企業ニーズの把握や進出企業の絞り込みを行うとともに、各種優遇措置の検討を行う。	

今後の取り組み方針

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		市町村 負担金	交付対象 外経費
16,464	16,464	13,171	3,293		



千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者の選定にあたって、プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 費目・使途は事業目的に必要なものに限定していると考えており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-	工芸による街づくり事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (5) - イ	
担当部課名	経済文化部 商工振興課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 ～ 2 7 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興		
					- 3 - (2)		
事業内容	工芸品の販路拡大をはじめ、工芸従事者の生産意欲の高揚および工芸に対する市民の意識啓発など、工芸産業の振興を図るため、沖縄市工芸フェアの開催等を支援するとともに、工芸産業の全般的な振興に寄与することを目的として、（仮称）沖縄市伝統工芸館の整備に向けた取組みを実施する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
		(a) 当初予算額	13,565	-			
		(b) 予算現額	13,096	-			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 469	-			
		(d) 繰越額	-	5,838			
	A . 計 (b+d)	13,096	5,838				
		B . 執行済額	7,254	5,620			
		うち交付金充当額	5,802	4,496			
		次年度繰越額	5,838	0			
	執行率（％）(B/A)	55.4%	96.3%				
予算の状況の説明	（仮称）沖縄市伝統工芸館基本構想策定については、用地選定等ワーキンググループや意見集約の為、繰越となった。当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	県外での出店 工芸フェア開催 伝統工芸館基本構想策定の検討	目 標	(1回 1回 4回)	()	()	()	
		実 績	1回 1回 4回				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・渋谷ヒカリエにて県外展示販売会を行った。 ・プラザハウスにて工芸フェアを開催した。 ・「（仮称）沖縄市工芸の郷整備基本構想・基本計画」を策定した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （27年度）
	沖縄市工芸フェア売上額	目 標	()	(1,500万円)	()	()	()
		実 績		1,300万円			
	伝統工芸館基本構想の策定の検討	目 標	()	(策定の検討)	()	()	()
		実 績		検討実施及び基本計画構想の策定			
	進捗状況説明	沖縄市工芸フェアについては、シャトルバス運行の周知やフェア全体の広報等、告知不足の影響で来客数への影響もあり、目標額には達しなかった。 「（仮称）沖縄市工芸の郷整備基本構想・基本計画」については、検討及び基本計画構想の策定を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・工芸フェアにおいては、関係者間で共通認識や情報共有の点で、一致しない部分もあり、運営等において支障となることがあった。 ・基本構想策定については作業スケジュールにおいて意見集約等、情報収集の迅速化を図る必要があった。	・事務局を含めた関係者及び会場レベルでの話し合いや調整を何度も行い、連携を図りながら運営していく。 ・計画的に作業を進めていく為に進捗状況を全体で随時確認する。
今後の取り組み方針		
作業効率化も図りながら、情報発信を行い、市民に対して工芸への理解度、知名度を上げていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
12,874	12,874	10,298	2,576	0

```

graph LR
    A[沖縄市  
12,874千円] --> B[委託費  
5,838千円]
    A --> C[補助金  
6,450千円  
(主な費目)  
賃金・広告料・旅費交通  
費・賃借料等]
    A --> D[嘱託職員報酬  
586千円]
    B --> E["(株)建築設計同人匠才  
庵・(株)インタープラン沖縄  
共同企業体  
5,838千円"]
    C --> F["沖縄市工芸産業振興会  
1,550千円  
(総事業費の4/5を補助)  
総事業費の1/5は別途受益者負"]
    C --> G["沖縄市工芸フェア実行委員会  
4,900千円  
(総事業費の4/5を補助)  
総事業費の1/5は別途受益者負"]
    
```

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-	地域ブランド推進事業			沖縄 21 世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第 3 章 - 1 - (5) - イ	
担当部課名	経済文化部 商工振興課	事業実施 (予定) 年度	平成 2 4 ～ 2 7 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	伝統工芸品等を活用した感性型 のものづくり産業の振興 - 3 - (2)	
事業内容	魅力ある沖縄市ブランドの確立によるものづくり産業を振興するため、市内の優れた地域資源（二次加工品等）を沖縄市のブランド品として認定する沖縄市地域ブランド認定制度等を実施し、沖縄市ブランドの広報活動を行うとともに、新商品の開発または販路開拓等に対し支援する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）		24 年度	24 年度（繰越）	25 年度	26 年度	27 年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	15,945	-			
		(b) 予算現額	5,146	-			
		(c) 増減額 (b - a)	▲ 10,799	-			
		(d) 繰越額	-	715			
	A . 計 (b + d)		5,146	715			
	B . 執行済額		4,431	715			
	うち交付金充当額		3,544	572			
	次年度繰越額		715				
	執行率（ % ） (B / A)		86.1%	100.0%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 当初予算額と予算減額の開きについては、最終的な交付対象経費を予算減額に記載したためである。 コザスターマーク商標登録について、登録を年度内に処理できるよう特許庁へ早期審査依頼を提出したが、急を要さないとの理由で次年度の審査となったため、繰越となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24 活動目標 (指標)		達成状況				
			24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	
	新商品開発 商品の高付加価値化 コザスター認定マーク商標登録 展示即売会の開催	目 標	(2 件 2 件 1 件 2 3 業者)	()	()	()	
		実 績	5 件 3 件 1 件 (H25 に繰り越し後登録 済) 1 6 業者				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	・地域ブランド推進事業補助金の公募により、2 商品の新商品開発及び 2 商品の高付加価値化を実施した。 ・コザスター認定マークの商標登録を H25 に繰り越し後、登録済。繰り越しが生じた理由としては関係機関による商標登録の 処理に不測の日数を要したため。 ・沖縄郵便局との連携により、店頭にて展示即売会を実施。16 業者が参加した。目標数は 23 業者だったが、郵便局側の要件 を満たしている業者が少なかったこと、時期などの事業者の都合が合わない等の理由から、目標業者数には至らなかった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24 成果目標 (指標)		基準値 (年度)	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (年度)
	コザスター商品認定数 コザチョイス商品選定数	目 標	()	(6 商品 6 0 商品)	()	()	()
		実 績		6 商品 6 5 商品			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	・平成 2 4 年度、3 商品を新たにコザスター商品として認定し、合計 6 商品となった。 ・平成 2 4 年度、1 5 商品を新たにコザチョイス商品として選定し、合計 6 5 商品となった。					

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ○地域ブランド補助金に関しては、総事業費の3分の1を受益者負担としていることから、受益者との負担関係は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-	コミュニティパーク整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (1) - イ	
担当部課名	建設部 建築・公園課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 7 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 - 4	
事業内容	市民の健康づくりや地域コミュニティ等を促進するため、地域住民と協働による公園の基本計画を策定する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	7,794	-			
		(b)予算現額	4,922	-			
		(c)増減額(b-a)	▲ 2,872	-			
		(d)繰越額	-	1,057			
	A. 計(b+d)		4,922	1,057			
	B. 執行済額		3,885	0			
	うち交付金充当額		3,108	0			
	次年度繰越額		1,057				
	執行率(%) (B/A)		78.9%	0.0%			
予算の状況の説明		ワークショップの開催について、地域の代表である自治会や学校関係者など、関係団体の日程が合わないことから、調整に不測の時間を要したため繰越手続きは行ったが、年度内に完了した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	若夏公園の基本計画策定	目 標	(基本計画策定)	()	()	()	
		実 績	基本計画策定				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	公園の機能、性格、理念、テーマ及びイメージを設定し、敷地の立地条件等の分析評価や計画の方針、及び導入施設の内容・規模を設定するとともに、景観、環境保全、管理運営等の概略検討に基づきながら、土地利用及び動線を定める等、公園の基本的な内容を決定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	若夏公園の基本計画策定	目 標	()	(基本計画策定)	()	()	()
		実 績		基本計画策定			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	以下の基本方針を設定した。 1. 地域住民が安全に楽しく使える身近な公園整備 2. 地域住民が集い、要望の高い遊び場や多目的に使用できる大きな広場の確保 3. 美里公園との連携を図りながら健康づくりの拠点となる公園整備					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ワークショップの開催について、地域の代表である自治会や学校関係者など、関係団体の日程が合わないことから、調整に不測の時間を要した。	ワークショップや意見交換等の開催について周辺地域の関係者の日程や業務の進捗を考慮した開催時期の検討が必要。
今後の取り組み方針		
適切な時期に意見交換等を開催し、地域住民が公園計画や公園利用、維持管理などに関わり、地域と密着した公園整備を行う。		

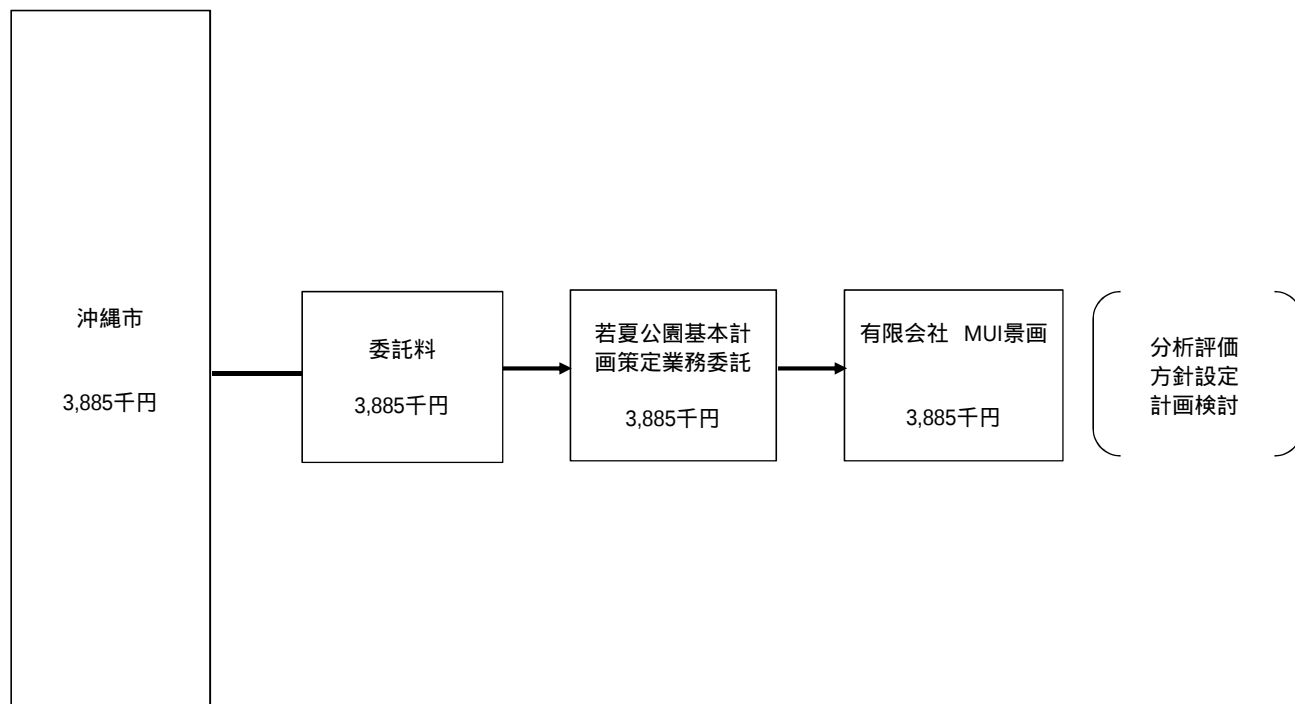
今後の取り組み方針

適切な時期に意見交換等を開催し、地域住民が公園計画や公園利用、維持管理などにに関わり、地域と密着した公園整備を行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		市町村 負担金	交付対象 外経費
3,885	3,885	3,108	777		



千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の 流れ、 費目、 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 業務委託は指名競争入札にて決定しており、支出先の選定方法は妥当であったと考える。 ○ 委託費の積算については単価見積り比較等により適正に行っている。 ○ 費目・使途については、業務完了後に支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市							
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	11-	地域防災対策強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (4) - イ		
担当部課名	総務部 防災課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 3 3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化			
					- 1 0 - (2)			
事業内容	災害時に備えるため、デジタル防災行政無線親局の整備に向け取り組むとともに、災害用備蓄倉庫(備蓄品を含む)の整備、防災情報マップ(観光情報も掲載)の作成、避難場所標識の設置等を行う。							
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	264,860	-				
		(b)予算現額	263,994	-				
		(c)増減額(b-a)	▲ 866	-				
		(d)繰越額	-	200,540				
		A. 計(b+d)	263,994	200,540				
	B. 執行済額		58,023	186,239				
	うち交付金充当額		46,418	148,991				
	次年度繰越額		200,540					
	執行率(%) (B/A)		22.0%	92.9%				
予算の状況の説明		・防災行政デジタル無線親局工事について難聴地区の調査等設計内容を変更する必要が生じ設計が遅れたため、平成25年度に繰越し整備を完了した。 ・指名競争入札により入札残があったが、当初の目的は達成できており適正な予算執行であると考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)			達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	デジタル防災行政無線親局実施設計 災害用備蓄倉庫(備蓄品含む)の整備	目 標	(実施設計 3 棟設置)	()	()	()		
		実 績	実施 実施					
	防災情報マップ(観光情報も掲載)作成 避難場所標識設置	目 標	(6 万部 1 0 カ所)	()	()	()		
		実 績	実施 実施					
達成状況説明	防災行政デジタル無線親局実施設計完了。 災害用備蓄倉庫は3棟設置済み。 防災情報マップ6万部印刷。 避難場所標識10カ所設置							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	デジタル防災行政無線親局実施設計 災害用備蓄倉庫(備蓄品含む)の整備	目 標	()	(実施設計 2 カ所、3 棟)	()	()	()	
		実 績		完了 完了				
	防災情報マップ(観光情報も掲載)作成 避難場所標識設置	目 標	()	(6 万部 1 0 カ所)	()	()	()	
		実 績		完了 完了				
	進捗状況説明	防災行政デジタル無線親局実施設計後に整備工事を開始したが、年度内で完了出来ず、繰越し整備を完了した。 災害用備蓄倉庫は3棟設置済み。 防災情報マップ6万部印刷し関係機関へ配布、市内各世帯へ自治会を通して配布。 避難場所標識10カ所設置済み						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	災害用備蓄倉庫を整備し、食料・飲料水等の備蓄を行ったが、婦人用品等の備蓄も行してほしいとの要望があった。	・乳幼児を持つ親や女性からの意見を盛り込んだ備蓄整備に取り組む。 ・他市町村の備蓄整備状況を調査し、沖縄市の整備計画に盛り込んでいく。
今後の取り組み方針		
他市町村の備蓄物資の状況調査や、関係部所にアンケート等を行い、計画的な整備計画を行い備蓄整備に取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>244,262</td><td>244,262</td><td>195,409</td><td>48,853</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	244,262	244,262	195,409	48,853	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
244,262	244,262	195,409	48,853	0										
沖縄市 244,262千円	委託料 83,617千円	㈱東洋企画印刷 17,325千円	防災情報マップ作成委託業務											
		一般財団法人経済調査会 沖縄支部 394千円	防災行政無線デジタル整備設計業務のための物品単価 調査											
		合資会社 環境設計無限 2,100千円	防災行政無線デジタル整備設計委託業 務											
		コザデザイン 1,008千円	津波避難ビル多言語標識制作設置委託											
		㈱興洋電子 62,790千円	防災情報共有システム構築業務委託											
	備品購入費 29,172千円	侑よるこび電化 2,415千円	備蓄倉庫購入											
		㈱ジムキ文明堂 6,416千円	組立トランク型自動ラップ式簡易トイレ											
		侑よるこび電化 16,695千円	IP無線システム機器											
		㈱サンコー 2,902千円	コンパクトソーラー発電機											
		㈱加島事務機 146千円	キャリーカート											
		㈱興洋電子 598千円	デジタル戸別受信機											
	工事請負費 122,850千円	特定工事共同企業体 122,850千円	防災行政無線デジタル整備工事 (㈱コザ電気工事会社・侑よるこび電化)											
	消耗品 7,665千円	㈱サンコー 7,665千円	災害用備蓄食料											
	報酬 869千円	(嘱託職員報酬1名)												
	事務費 89千円	(一般事務消耗品)												
	千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。													
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○ 委託事業者はプロポーザル方式・指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-	災害時緊急避難通路整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (4) - イ	
担当部課名	建設部 道路課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 - 1 0 - (2)	
事業内容	津波など自然災害に対する防災力の向上のため、東部地域における里道を活用した緊急避難通路の整備を実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	(a) 当初予算額	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(b) 予算現額	3,300	-			
		(c) 増減額 (b-a)	3,255	-			
		(d) 繰越額	▲ 45	-			
		A . 計 (b+d)	-				
	B . 執行済額		3,255	0			
	うち交付金充当額		2,604				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%	#DIV/0!			
	予算の状況の説明		差額は入札差額によるものであり、適正に執行したと考える ・避難経路の調整に時間を費やし繰越手続きは行ったが、年度内に完了した。				
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	災害時緊急避難通路整備計画策定	目 標	(整備計画策定)	()	()	()	
		実 績	整備計画策定				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	計画策定業務において、予定していた4地区10カ所の災害時緊急避難通路の策定業務を実施し、今後、行う実施設計に反映させる事が出来る。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	災害時緊急避難通路整備計画策定	目 標	()	(4地域 10カ所)	()	()	()
		実 績		4地域、10カ所			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	計画策定業務において、予定していた4地区10カ所の災害時緊急避難通路の策定業務を実施し、今後、行う実施設計に反映させる事が出来る。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 基本的に、里道を活用して緊急避難通路を整備していくが、里道の幅が一定では無いので用地購入が出てくる地区があり地権者からの同意が得られるかが課題となっている。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 実施設計にて用地購入が分かった場合は、事前に地権者との調整を実施してスムーズに用地購入が出来る様に進めていく。
	今後の取り組み方針 基本策定計画に基づき、平成25年度から実施設計をおこなっており発注計画を基に順次、実施設計業務委託の発注、用地測量業務委託の発注、工事発注を行って行く。	

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
3,255	3,255	2,604	651	

沖縄市道路課

3,255千円

→

委託料

3,255千円

→

有限会社 N's

3,255千円

災害時緊急避難通路策定計画に
かかる委託業務

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者は競争入札により選定しており、妥当な選定方法であったと考えている。 ○ 費目・使途については、委託業務完了後に支出等に関する書面により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-	沖縄市防災研修センター改修事業			沖縄 2 1 世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第 3 章 - 2 - (4) - イ	
担当部課名	消防本部 予防課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ～ 2 5 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 - 1 0 - (2)	
事業内容	防災に関する知識及び技術の向上、ならびに防災意識の高揚を図るため、また、海拔の低い地域における津波に関する防災研修が行えるよう、沖縄市防災研修センターを改修に向けて取り組む。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+ 「市町村負担」 ベース）	予算の 状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	205,840	-			
		(b)予算現額	205,840	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	197,082			
	A . 計(b+d)		205,840	197,082			
	B . 執行済額		8,759	189,014			
	うち交付金充当額		7,006	151,211			
	次年度繰越額		197,082				
	執行率(%) (B/A)		4.3%	95.9%			
予算の状況の説明	導入機器の検討に時間を要したため繰越となった。 工事請負費及び備品購入費の入札残による不用額が発生しているが、予定していた取り組みは予定通り実施できた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	防災研修センターの基本設計の実施	目 標	(基本設計実施)	()	()	()	
		実 績	基本設計実施				
	防災研修備品等の購入	目 標	(防災教育DVD 購入)	()	()	()	
		実 績	購入				
	達成状況説明	平成24年度中に実施設計を実施した。また、改修工事については、平成25年度に繰越を行い実施した。 防災意識の高揚を図るため、防災教育用DVDなど購入した。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	防災研修センターの基本設計の実施	目 標	()	(基本設計 実施)	()	()	()
		実 績		基本設計実施			
	防災研修備品等の購入	目 標	()	(防災教育 DVD購入)	()	()	()
		実 績		購入			
	進捗状況説明	最新の体験機器等を活用し防災に関する知識及び技術の向上、海拔の低い地域における津波等に関する防災研修が期待できる。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	東日本大震災の発生以来、市民の防災意識は高まっていることから、災害から市民等の安全を確保するため、多様な防災情報の提供が求められている。	最新の各種展示物や体験機器を活用し防災意識の向上と防災知識の習得や防災講演会等を実施する必要がある。
今後の取り組み方針		
子供から大人まで幅広い市民を対象とした防災意識の向上と、防災知識の習得により災害に強い地域づくりに取り組む。また、防災講演会等を開催し防災に対する意識啓発及び来場者数の増加を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
197,773	197,773	158,217	39,556	

```

graph LR
    A[沖縄市  
197,773千円] --> B[事務費  
1686千円]
    A --> C[委託料  
5,901千円]
    A --> D[工事請負費  
184,275千円]
    A --> E[備品購入費  
5,911千円]
    
    B --- B_desc["報酬 需用費"]
    
    C --> C1["(有) 創建設計事務所  
1,344千円"]
    C --> C2["(有) 創建設計事務所  
4,557千円"]
    C1 --- C1_desc["工事管理にかかる業務委託"]
    C2 --- C2_desc["工事設計業務委託"]
    
    D --> D1["(有) 三省電気工事JV  
109,200千円"]
    D --> D2["(株) エノビ防災技研  
67,200千円"]
    D --> D3["(株) サンニン  
7,875千円"]
    D1 --- D1_desc["電気設備工事"]
    D2 --- D2_desc["機械設備"]
    D3 --- D3_desc["建築工事"]
    
    E --> E1["沖縄教育機材社  
2,516千円"]
    E --> E2["(株) サンコー  
2,858千円"]
    E --> E3["(有) 中部内張  
537千円"]
    E1 --- E1_desc["防災教育用DVDの購入"]
    E2 --- E2_desc["会議用椅子・会議用テーブル等の購入費"]
    E3 --- E3_desc["暗幕カーテン・縦型ブラインドの購入"]
  
```

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

市町村名	沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-	学校安全対策強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (4) - イ	
担当部課名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 8 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	こどもたちの安全への意識を高めるために、土地の標高や避難場所、危険箇所等の情報を盛り込んだハザードマップが記載された下敷きを作成し、幼稚園・小中学校に配布する。また、地理情報を拡大パネルにし、学校の見やすい場所に掲示する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	18,350	-			
		(b)予算現額	18,350	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	18,309			
		A.計(b+d)	18,350	18,309			
	B.執行済額			18,309			
	うち交付金充当額			14,647			
	次年度繰越額		18,309				
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		各校区ごとに、地域の安全マップ、防災マップを掲載した下敷き製作を委託にて執行することにより、当初計画していた事業内容を実施するとともに、適正な予算執行に努めた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	園児、児童、生徒への防災意識啓発用の下敷きの配布	目 標	(約16,700枚)	()	()	()	
		実 績	17,000枚				
	学校掲示用安全マップ設置数	目 標	全幼稚園(16園)、小学校(16校)、中学校(8校)	()	()	()	
		実 績	全幼稚園(16園)、小学校(16校)、中学校(8校)				
達成状況説明	学校における地域安全及び地域防災について、市内全幼児、児童生徒に配布することができ、今後の防災訓練や、予期せぬ災害等への意識啓発が図られるとともに、日常の通学路での事故等の未然に防止につなげるきっかけを作ることができた。今後も、危険箇所及び避難経路・場所など最新情報の修得に努め、継続的に見直し等を図りながら、防災等についての意識啓発を図る。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	園児、児童、生徒への防災意識啓発用の下敷きの配布	目 標	(ー)	(約16,700枚)	()	()	()
		実 績		17,000枚			
	学校掲示用安全マップ設置数	目 標	()	全幼稚園(16園)、小学校(16校)、中学校(8校)	()	()	()
		実 績		全幼稚園(16園)、小学校(16校)、中学校(8校)			
	進捗状況説明	学校における地域安全及び地域防災について、市内全幼児、児童生徒に配布することができ、今後の防災訓練や、予期せぬ災害等への意識啓発が図られるとともに、日常の通学路での事故等の未然に防止につなげるきっかけを作ることができた。今後も、危険箇所及び避難経路・場所など最新情報の修得に努め、継続的に見直し等を図りながら、防災等についての意識啓発を図る。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・地域安全や防災については、常に最新情報を子どもたちに知らせることが重要である。 ・そのため、最新情報を収集するための継続的な取組みが重要である。	学校における安全委員会や防災委員会等の継続的な開催に努める。
今後の取り組み方針		
子どもたちに地域安全や地域防災の視点から意識を高める継続的な取り組み方法や事業内容の充実・発展に努める。		

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
18,309	18,309	14,647	3,662	0

```

graph LR
    A[沖縄市  
18,309千円] --> B[委託料  
18,309千円]
    B --> C[新星出版株式会社  
18,309千円]
    C --> D[市内幼稚園、小学校、中学校に納品  
(学校にてこどもたちに配布)]
    
    subgraph Details [ ]
        direction TB
        E[安全下敷き・マップ製作制作  
にかかる委託業務]
        F["〔業務内容〕  
校区ごとの実地調査  
安全・防災マップ下敷き製  
作  
学校掲示用マップ製作  
HPコンテンツ制作"]
    end
    C --- Details
            
```

The flowchart illustrates the financial flow for map production. It starts with Okinawa City providing 18,309 thousand yen as a commission fee to Shinkyo Publishing Co., Ltd. The publisher then uses this amount to produce safety maps and related materials, which are distributed to kindergartens, elementary schools, and middle schools within the city.

千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

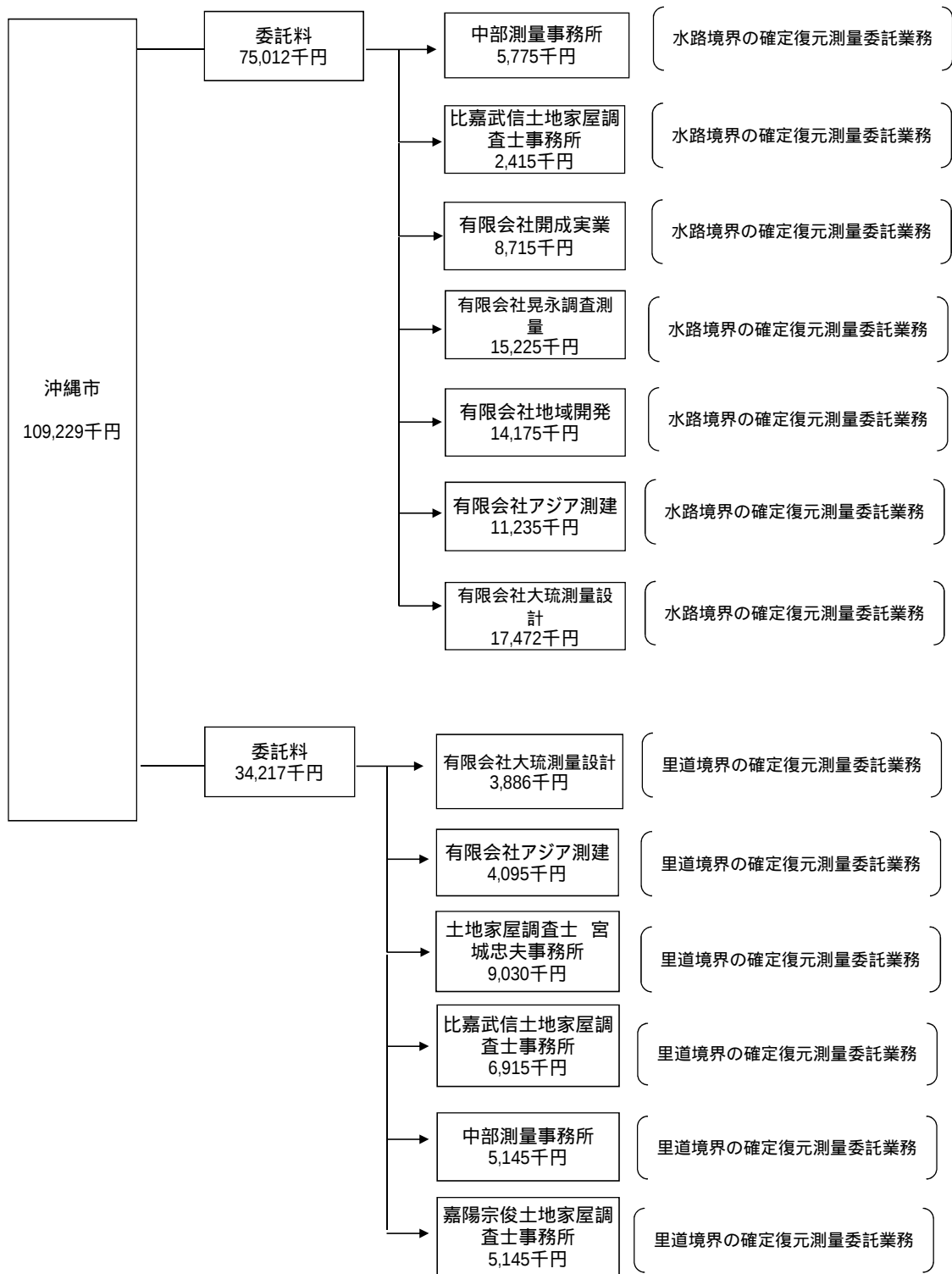
資金の 流れ、 費目、 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者はプロポーザルにより、組織体制、実績、技術・知識等を勘案したうえで審査し、選定に至っており適正な執行であるものと考えている。 また、こどもたちに対して下敷きによる配布は、目的に即し必要かつ効果的な活用が図られるものとして適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		12- 里道および水路の境界確定復元事業		沖縄 21 世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第 3 章 - 2 - (5) - イ		
担当部課名		建設部 道路課 建設部 下水道課		事業実施 (予定)年度 平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		
						戦後処理問題の解決 - 1 2 - (1)		
事業内容		戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量及び復元作業を行う。						
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		予算 の 状 況	(a)当初予算額	112,923	-			
			(b)予算現額	109,270	-			
			(c)増減額(b-a)	▲ 3,653	-			
			(d)繰越額	-	109,270			
			A . 計 (b+d)	109,270	109,270			
		B . 執行済額		0	109,229			
		うち交付金充当額		0	87,382			
		次年度繰越額		109,270				
		執行率 (%) (B / A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		境界確定測量を実施する箇所を追加するため予算増額を行った。 測量業務の境界立会について、住民等(隣接土地所有者等)との境界確定に不測の時間を有したため繰り越しとなったが、計画していた事業内容は適正に実施できた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		境界が不明確な里路の境界確定測量の実施	目 標	(100箇所)	()	()	()	
			実 績	90箇所				
		境界が不明確な水路の境界確定測量の実施	目 標	(境界確定測量実施)	()	()	()	
			実 績	境界確定測量実施				
達成状況説明		境界が不明確な里道について、境界確定及び復元作業を90箇所、実施した。 境界が不明確な水路について、境界確定及び復元作業を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
		境界が不明確な里路の境界確定測量の実施	目 標	()	(100箇所)	()	()	()
			実 績		90箇所			
		境界が不明確な水路の境界確定測量の実施	目 標	()	(境界確定測量実施)	()	()	()
			実 績		境界確定測量実施			
		進捗状況説明		境界が不明確な里道について、平成24年度は境界確定及び復元作業を90箇所実施した。目標と実績に10箇所の差が生じているが、目標とする距離と実績の距離には相違はない。 境界が不明確な水路について、平成24年度は境界確定及び復元作業を5,023m実施した。				
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)				
	・戦後の米軍統治下の影響によって長期間境界が不明確になっていた為、復元にあたっては住民等(隣接土地所有者等)の理解を得る事が困難であった。			・住民等(隣接土地所有者等)に対して、里道・水路の境界確定復元事業の理解を得る為の説明方法を検討する。				
今後の取り組み方針								
本事業について、住民等(隣接土地所有者等)からの理解を得るための説明を書面等にて行うなど、説明方法について改善を行い境界確定復元作業を引き続き実施していく。								

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
109,229	109,229	87,382	21,847	



千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者は競争入札により選定しており、妥当な選定方法であったと考えている。 ○ 委託業務費の積算については、積算歩掛け等により適正に行っている。 ○ 費目・用途については、委託業務完了後に支出等に関する書面により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	